

めざす子ども像 **地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども****取組目標** **「つながる力を育てよう」****【今年度の取組紹介】**

文化発表会では、中学の図書ボランティア協賛で図書室を公開し、新刊の紹介や、特集記事の展示が行われ、今回は特に、NHK 朝ドラ「らんまん」のモデル牧野富太郎博士の植物図鑑や、毎年人気のしおり作りなどが、多くの生徒たちでにぎわっていました。

ボランティアさんは、図書のブッカー掛けや補修はもちろん、図書室を気軽に活用してもらいたいという願いから、レイアウトの変更や、昼休みの開放、図書の貸し出し数をポイント制にし、特典を付けるなど、さまざまなアイデアを出し合い、日々活動しています。



年3回行っている漢字検定は、校区の小学4年生から中学生を対象に、申し込みを受け付けていますが、今年度から、さらに多くの学生に受検の機会を設けるため、校区以外でも姉妹兄弟であれば受検可能としました。

大学生参画事業で来ていた学生が、当日の準備、設営、子どもの誘導、注意事項の説明、机間巡視などを経験しました。

**【今年度のまとめ】**

コロナが5類に移行し、学校行事や授業スタイルも従来のように戻りつつあり、活動も増えた1年でした。こども園や幼稚園での、園外保育引率補助、小学校では、新入生下校見守り、家庭科や図工授業補助の要請があり、絵本の読み聞かせ、昔遊びなど、直に子どもたちと触れ合い、いろんな表情を感じることができました。

【来年度に向けて】

さらに、活動を明確に、より効果的に進めるために、現場の先生方と、情報を共有できるよう考えていきたいです。

めざす子ども像

地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

『つながる力をそだてよう』 ～「伏見中 大好き！」と心から言える日のために～

地域と共に育つ生徒の育成

【今度の取組紹介】

◆しおり作り【読書活動推進事業】

図書ボランティアさんには毎年、「ふれあい文化発表会」の際にブッカーの貼り方講習会や推薦図書の読み聞かせなど、一緒に活動する時間を設けていただいています。今年度は4年振りに「しおりづくり」を一緒に行うことができました。ボランティアさんたちに教えていただきながらオリジナルのしおりを完成させた生徒たちは、とても満足そうでした。昼休みの図書室開放時間にも持参し、大事に使っている様子です。

また、『図書ボランティアが選んだ、心に響く言葉たち』と題した展示物も作成していただき、生徒たちがよく通るところに掲示しました。興味深げに読む子、図書室にきてその本を借りていく子、と読書に対する意識を向上させることにつながりました。



◆図書室環境整備（通年）

中央図書館の司書さんが来校される時に合わせて、ボランティアさんたちも来てくださっています。司書さんの専門的なご意見をお聞きしながら、本の配置、新刊の選書等おこなっています。昼休みの開館時には生徒たちと話をし、希望図書の聞き取りや、おすすめ本の紹介をしてくださいました。図書室に行く生徒数が増え、本に親しむ機会が多くなったと感じています。来年度以降もさらに充実した取組にしていきたいと考えています。

【今年度のまとめ】

今年度は文化発表会と合唱コンクールに地域の方々をお招きすることができました。文化発表会で図書ボランティアさんたちと生徒たちが共に生き活きと活動する姿を見ることができました。地域の行事も復活しつつあり、準備や運営のお手伝いなど、地域ボランティアに参加することもできました。地域の方々にも改めて中学生の若いエネルギー、力を感じていただくことができました。

【来年度に向けて】

これまで取り組んできたことを大切にしながら、地域に開かれた学校として、コーディネーターさんたちとの話し合いの場、情報交換の回数を増やし、新しい取組にも挑戦していきたいと考えています。

めざす子ども像 **地域に誇りをもち、心豊かに、共に生きぬく子ども****取組目標** 「いきいきわくわく地域とともに」～伏見でふれ合い、学び、育つ伏見っ子
～地域に根ざした「自ら学ぶこども 心豊かな子ども たくましい子ども」の育成**【今年度の取組紹介】**

主な柱を「地域連携による『伏見まつり～子どもの笑顔が地域を笑顔に～』の開催」「地域文化遺産学習等を通じた学校教育活動の充実」「共同環境整備作業や本の補修作業等を通じた学校環境整備」として取組を進め、いくつかの取組を実施しました。

「子ども見守り活動事業」では、子どもの登下校の時間に多くの地域の方々に通学路に立っていただき、子ども見守り隊の方々にパトロールをしていただき、安全を見守っていただきました。

11月には「伏見まつり」が開催されました。小学校、伏見公民館、ふれあい会館の会場は、各団体の出店や警察や消防、自主防災による体験コーナー、体育館や公民館などでの展示や発表などが行われました。また、3か所の会場を回るスタンプラリーも行われ、多くの参加者で大盛況でした。

学校園を整備して子どもたちが気持ちよく過ごすことができるように、たくさんの花を植えてくれました

このように、多くの方々が、より良い学校環境づくりに力を尽くしてくださいました。

**【今年度のまとめ】**

- ・教育活動の活性化、地域拠点としての学校機能の維持向上、子ども・地域・学校相互のより良い関係形成の面において、次のような様子から一定の効果を得ることができたと考えています。
- ・地域の方との交流の機会が少なくはなりましたが、その中でも、子どもたちが地域の方との活動を通して、地域に対する愛着や関わってくださった方々への感謝の気持ち等が育ってきました。
- ・学習を通して、子どもたちが自分にできることを考える等、心豊かでたくましく育つ素地となる活動や体験を行うことができました。

【来年度に向けて】

諸活動に携わってくださる方の世代交代や新たな人材の参加は徐々に進みつつありますが、継続的かつ安定的な人材の確保が課題であると考えます。また、働き方改革の観点からも、事業の見直しの必要があると考えます。地域の方のボランティアとしての参加方法や教職員の地域行事への参加方法を検討していく必要があると考えます。今までのあたりまえを見直していく観点からの取組の検討も必要であると考えます。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

「出会いと体験から豊かな学びを」ー地域ぐるみの子育てー**【今年度の取組紹介】****【読書活動推進事業】**

「図書ボランティア」の方には、節分の時期に合わせて、自作の紙人形・脚本を用いたパネルシアター劇で、鬼にまつわる本の紹介をしていただきました。また、各学年の教科書に掲載されている物語的な文章の作者の本を紹介いただき、並行読書を推奨いただきました。「お話の会」では、各クラスで本の読み聞かせをしていただき、読書の楽しさを紹介いただきました。図書館や交流スペースに特設コーナーを設置いただいたり、本の修繕をしていただいたりと図書館教育・読書活動の推進の充実にお力添えをいただいています。本との出会いを通して、心豊かな子に育ってほしいと願っています。

【授業サポート事業・環境支援事業・地域交流事業・安全見守り事業】

豊かな体験を通して学びを深めることができました。たくさんの地域の方にお力添えをいただき、子どもたちの成長を見守っていただいています。

**【今年度のまとめ】**

「継続すること」を大切にしながら、各活動内容の一層の充実を考えての取組となりました。コーディネーターを中心に学校に地域の方が集まっていただき、学校と地域の連携がさらに深まり充実した取組が実施できました。ご協力いただいたすべての方のご尽力をもって、質の高い体験を通して子どもたちが「心豊かに育つ」学校教育が展開できたと考えております。

【来年度に向けて】

本事業の充実をすべての関係者の皆様のお知恵をいただきながら、「地域に誇りを持ち心豊かに共に生きぬく子どもの育成」に向けた取り組みを継続・発展させていきたいと思います。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく子ども

取組目標

自分たちが暮らす地域に親しみを持ち、地域の人たちに支えられていることを感じられるような取組の充実。

【今年度の取組紹介】

◆ 昔あそび【地域に学ぶ事業】（1年生）

毎年子どもたちに「昔あそび」を教えに、地域のボランティアの方々がご来校くださいます。子どもたちも楽しみにしている行事の一つです。コマ回し、あやとり、カルタ、けん玉、お手玉など、様々な遊びを教えてください、一緒に楽しむことができました。

この交流を通して、地域の方々と子どもたちとの繋がりが深まり、子どもたちが自分の町を好きになる大切な行事となっています。



◆ 「地域」についてもっと知ろう。【地域に学ぶ事業】（3年生）

校区の施設を見学し、施設の利用者の方からお話を聞きました。そこでの出会いをきっかけに自分たちで校区にある他の施設についても調べ、「私たちの校区」というテーマでポスターセッションをしました。地域の方との交流を通して、子どもたちとの繋がりが深まるとともに、感謝の気持ちを届ける取組となりました。



【今年度のまとめ】

今年度は、年間通じて環境整備事業・読書啓発事業・地域に学ぶ事業を中心に実施することができました。地域に学ぶ事業では、地域の方々にゲストティーチャーとして来校していただき、「昔遊び体験」（1年生）・「ケナフで感謝の気持ちを伝えよう」（2年生）・「「地域」についてもっと知ろう」（3年生）・「防災体験」（4年生）・「地域遺産学習」（5年生）・「平和学習」（6年生）等を実施できました。地域の方がゲストティーチャーとして来校していただくことで、地域の方とつながりが生まれ、子どもたちが地域に愛着を持つ良き体験事業となりました。来年度はさらに、より豊かな体験活動ができるように計画していきたいです。

【来年度に向けて】

来年度も読書啓発事業・環境整備事業・地域に学ぶ事業を中心に子どもたちがより地域に親しめるような体験活動を実施していくとともに、子どもたちにより豊かな体験活動ができるようにコーディネーターと協議しながら進めていきたいです。

めざす子ども像

地域に誇りを持ち、心豊かに、共に生きぬく**子ども**

取組目標

身近な人と人との輪の中で、豊かに学び、自ら考え行動する子どもを育成する。

【今年度の取組紹介】

～地域の人と一緒に楽しもう事業～

【お茶を楽しもう】

年3回、地域の方にゲストティーチャーとして来ていただき、お茶の挨拶や作法について教えていただいたり、お茶の栄養や道具についてのお話を聞かせていただきました。普段の生活の中でも教えていただいた正しい姿勢や挨拶の仕方などを思い出しながら、日本の伝統文化に親しむことができました。



【奈良自動車学校 交通安全教室】



地域の教育力を活かし、奈良自動車学校で交通安全について教えていただきました。信号や道路標識についてわかりやすく教えてもらい、実際に教習コースを歩きながら、危険箇所や危険な場面を避けるための行動の仕方などを教えていただきました。また、地域のボランティアの方に道中の安全見守りや、一緒に参加していただいたことで、地域の方へ親しみや、感謝の気持ちをもつことができました。

【今年度のまとめ】

地域の方やゲストティーチャーとの体験活動は、ふだん経験できないことに触れる機会となり、子ども達にとって豊かな学びとなりました。また、地域の方々がいつも温かく接してくださることで、回を重ねるごとに、子どもたちは親しみを感じ、自分から挨拶をしたり話しかけたりするなど積極的に関わっていく姿につながりました。子ども達は毎回活動を楽しみにしており、園での活動が地域とつながり合う場となりました。

【来年度に向けて】

来年度は民間移管しますが、今まで西大寺北幼稚園として築いてきたつながりを絶やすことなく事業を継続していきたいと思えます。地域の方や子ども達が安心して活動に取り組めるように、様々な安全対策を講じながら、園、地域、家庭と連携し、子どもにとってよりよい心豊かな体験ができるように、保育の内容を検討し計画していきたいと思えます。

めざす子ども像

地域に誇りをもち、心豊かに、**共に生きぬく子ども**

取組目標

「地域とのつながりを感じる・広げる・深める」

～地域の教育力を活かし、心揺さぶられる感動体験の充実と心豊かな子どもの育成～

【今年度の取組紹介】

◆地域のゲストティーチャーを招いて体験活動（体験学習事業）

“サッカー教室”では、ゲストティーチャー（コーチ）との交流を通して、ボール遊びに興味をもって体を動かす楽しさが味わえるように年5回実施しました。子ども達はボールを使った様々な遊びに夢中になって、挑戦したり、できるようになったりする楽しさを味わうことができました。コーチの温かい励ましに自尊感情が高まり、子ども達は積極性が増していきました。活動を通して、友達と一緒に関わりながら「足でボール止められたよ」「シュートきまった!」と、できた喜びや充実感を味わうだけでなく、諦めずに挑戦する中で、集中力や判断力、コミュニケーション力など、たくましい心と体を育むことができました。



“ABCで遊ぼう”では、日本語以外の言語があることを知り、英語を使って遊ぶ楽しさを感じたり、外国の文化に興味や関心をもったりする機会となりました。活動では、英語の絵本や絵カードを使ったり、ゲームや手遊びなどのコミュニケーション遊びなど、回を重ねるごとに「Hello」「How are you?」と、積極的にゲストティーチャーと関わりながら、英語で話すことを楽しむ姿が見られました。3学期には、教わった英語を劇遊びに取り入れて言葉のやり取りを楽しむ姿もあり、経験を通して、英語を身近に感じながら、自己表現や自己発揮をする姿につながりました。

これらの活動は、子ども達の成長の姿を自由見学という形で保護者にも参観いただき、啓発の場としました。子どものいきいきとした姿に、「家では見られない姿に驚きました」「楽しそうに過ごしている様子を見て安心しました」「家でもたくさん褒めたいと思います」「3年間の育ちがよく分かりますね」などと、共に成長を喜ぶ声が聞かれました。子育て支援の充実に伴い、育児軽減を求める時代になった今だからこそ、たよりやHPだけでなく、子ども達が体験する生の姿や成長の様子を見ていただくことで、保護者の関心を高める機会になったと考えます。



◆地域の方と「いきいき広場」でふれ合い交流（地域交流事業）

地域の方を招いて年2回の「いきいき広場」を実施しました。その中で、今年度は創立70周年という節目の年でもあり、たくさんの地域の方を招いて、記念をお祝いしながら、音楽交流会を行いました。一緒に歌を歌う、手品など先生からの出し物、地域の方と一緒に楽器遊び、プレゼント交換など、様々な活動を通してふれ合いを楽しみました。また、リズム室を素敵に飾って一緒に給食を食べました。「給食おいしい?」「もうすぐ1年生だね」「好きな食べ物は?」など、地域の方と会話が弾みます。その後、「これは泡でつくったマグネットだよ（園児）」「これで靴紐結びの体験をしてね（地域）」と、手作りのプレゼントを交換しました。コロナ禍に伴う人数制限を解除し、たくさんの地域の方にお越しいただいて交流ができ、親しみをもって全身でふれ合ったり、温かい心にふれたりして、思いやりや感謝の気持ちをもつことができました。

【今年度のまとめ】

今年度は、全学年で取り組んだり、人数制限なく保護者や地域の方にお越しいただいたりして、たくさんの人との関わりにより、体験活動や地域交流の充実につなげることができました。また、コロナ禍での人との関りの希薄化が課題となっていたことから、地域の教育力を活かした活動内容を検討し、工夫したことで、コミュニケーションをとる楽しさや人とふれ合う喜びを味わう体験もできました。

そして、地域や保護者に子ども達の活動の様子を知っていただき、成長を実感したり、共に喜び合ったりして、園・地域・家庭が一体となって子どもの成長を見守る大切さを共有することができました。

【来年度に向けて】

地域では、後継者が課題となっていることから、保護者も地域の一員となり、園での活動を拠点に、園・地域・家庭とのつながりを「感じる・広げる・深める」ための活動内容を検討していきたいです。

そして、持続可能な体制を構築し、地域と共に心豊かな子どもの育成をめざしていきたいです。